

2026年国際女性デー  
中央大会ニュース NO.2  
(2026.3.18)

2026年国際女性デー中央大会実行委員会  
事務局 日本婦人団体連合会  
Tel. 03-3401-6147  
Fax. 03-5474-5585  
Eメール: womens@fudanren.jp

## 2026年国際女性デー中央大会

3月8日、なかのZERO小ホールで開催、昼の中野駅宣伝

会場には420人超、昼の中野駅北口宣伝に60人超参加

「米国トランプ政権は、1月3日のベネズエラへの侵略行為に続いて、2月28日にはイスラエルとともにイランへの軍事攻撃を開始しました。どのような理由があろうとも、他国の主権を侵し、「力による支配」をしようとするのは、国連憲章、国際法に照らして、決して許されることではありません。

国際女性デーにあたって、本日の参加者の皆さんとともに、こうした侵略行為、軍事攻撃を今すぐ中止することを強く求めたいと思います。」

主催者あいさつする 小畑雅子実行委員長





講演される太田啓子弁護士と、  
キューバ大使館からいただいたお花

## 大会に寄せられた海外メッセージ

- ・ポルトガル民主女性運動・MDM
- ・キューバ女性連合
- ・イラン女性民主同盟
- ・ガブリエラ女性連合(フィリピン)
- ・ギリシャ女性連合(OGE)

## 中央大会への感想

- ・戦争と平和、男女平等へのとりくみを日常的に追求していくことの大切さを痛感する日となりました。
- ・日本の置かれている男女差別がよくわかる集会でした。
- ・平和への連帯を社会運動に広げていけるか、厳しい世界になっているが、世界各国で戦争や紛争があるなか、日本も高市内閣になって危ない方向がたくさん出てきた。平和を守っていくつながりが必然になっている。こんな危ない時代だから運動の力が大切なので、身近な友人たちにも伝えていきたい。
- ・力強いめげない女性たちが集まった力強い大会でした。
- ・トランプもネタニエフも、プーチンも、いわゆる「男」性が戦争を呼ぶ。笑顔で粘り強く話し合い、共感し合い、協働しあう、いわゆる「女」性は、平和と相性がいいと、今日、実感しました。



対話になった 3・8 中野駅北口宣伝

## 宣伝エピソード

- 「高市首相の戦争に向かってまっしぐらな姿勢や武器輸出などへの不安がある」と宣伝を見かけた若者の飛び入り参加がありました。
- 国際女性デー中央大会のチラシを受け取った若者が、中央大会に参加してくれ、大会会場でチラシ配布した実行委員に、「参加しました」と声をかけてくれました。